



2012年12月26日  
在日米国商工会議所

## ACCJ、日本の新首相・安倍晋三自由民主党総裁に祝意を表明

在日米国商工会議所(ACCJ)は、自由民主党の安倍晋三総裁が第96代内閣総理大臣に指名されましたことに祝意を表します。

マイケル・アルファント現ACCJ会頭は、「ACCJは過去60年以上にわたり、外国企業・日本企業双方にとっての日本のビジネス環境強化に尽力してまいりました。今後も引き続き、日本におけるパートナーや友人たちと協力し力を尽くしていく所存です。企業レベル、戦略的レベル、個人レベルを含め、あらゆるレベルで日米関係を今後も発展させるため、日本の新しい政権と密接に協力していくことを期待しております。」と述べました。

加えて、ローレンス・ベイツ次期 ACCJ 会頭は、「日本の新首相に協力し、ACCJ が日本の経済成長に具体的な貢献ができる方法を模索していきます。ACCJ 次期会頭として私が最も力を入れたいテーマは、日本の現在および将来にとって経済成長が何よりも重要という安倍首相の考え方と重なります。日本が発展すれば ACCJ も発展します。ACCJ の資源を活用し、日本経済の活性化のために有意義と考える事実と調査に基づいた政策提言を今後も行っていきたいと思えます。」と述べました。

以上

###

1221 J

### －在日米国商工会議所について－

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業 40 社により 1948 年に設立された日本で最大の外資系経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約 1000 社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係の下、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60 以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間 500 以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

### 【お問い合わせ】

同伴に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 渉外室（電話：03-3433-6542；メール：external@accj.or.jp）までお願い致します。